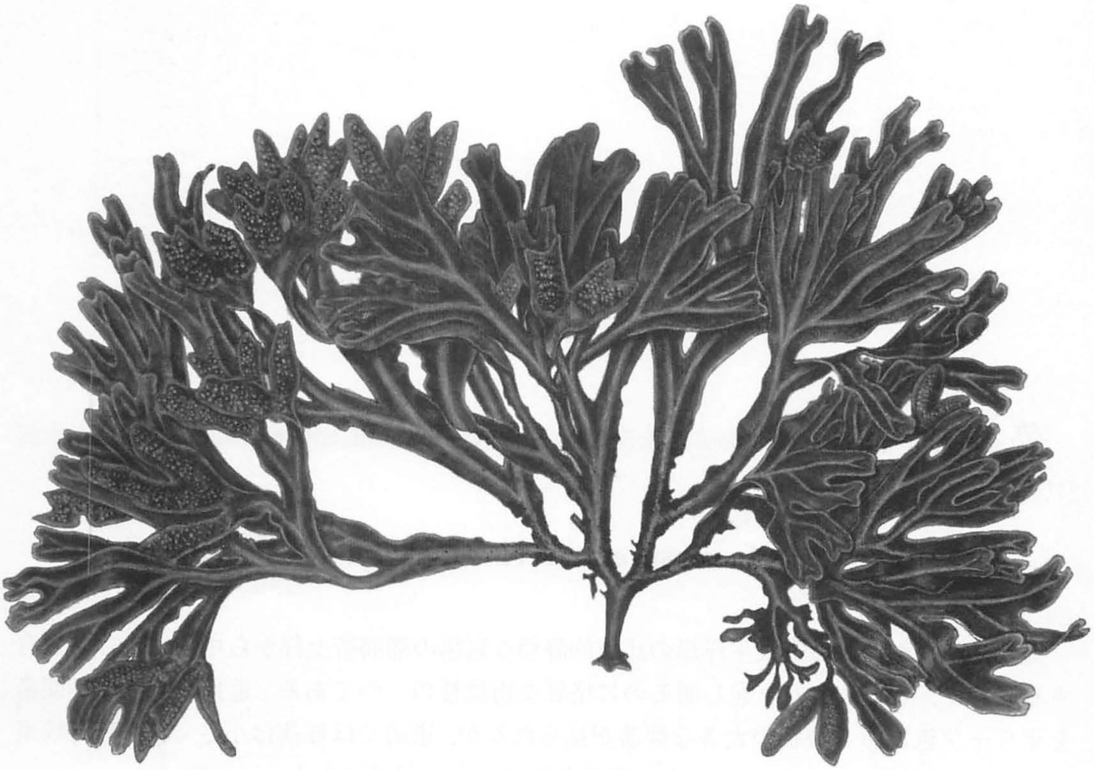

藻類アート

Fucus distichus L. subsp. _evanescens_ (C. Ag.) Powell　ヒバマタ

褐藻ヒバマタは北海道太平洋岸の比較的静穏な岩場の潮間帯上部から中部にかけて生育する海藻で，寒流の勢力を推し測るのに格好な指標種の一つである。道東地方では潮間帯をオリーブ色に彩る帯状の大きな群落が見られるが，道南では群落は小さく，津軽海峡東口に近い汐首岬あたりでは1～2本の藻体が稀に生えるだけになる。

かつてアラスカ南東部のニシン漁業の基地シトカの入江で，干潮時にヒバマタによく似た*Fucus*の大群落を見て驚いたことがある。それから十数年後，シトカからやって来た三人の研修生をつれてデパート探訪にでかけ，偶然にもこの海藻にニシンが卵を産みつけた偽物の「子持ち昆布」を発見し，彼らの"Crazy!"という声を背に買い求めて試食してみた。結果は期待通り（？）crazyな味であった。ヒバマタを見るたびにアラスカの海岸に群生していた*Fucus*の情景と，その時の彼らの不思議そうな顔を思い出す。

絵は6月に厚岸で採集した標本に依った。

川嶋昭二（〒041 函館市日吉町4丁目29-15）